

# 茨城県 牛久市（自然観察の森での森林整備及び木育活動の充実）

- ▶ 牛久市では、牛久自然観察の森の活動を通じて、国内の森林整備の結果、算出される間伐材の利用や、広く市民にその利用について普及啓発に取り組むことに森林環境譲与税を活用していく方針である。
- ▶ 令和4年度においては、以下の取り組みを実施。令和5年度においても同様に進めていくこととしている。

## □ 事業内容

### 自然観察の森での森林整備及び木育活動の充実

- ・ 施設内の森林整備及び木育ひろばで遊べる木製玩具等を製作。施設内及び外部出張にて、普及啓発を実施。

【事業費】42,320千円（うち譲与税10,964千円）

（譲与税は、施設内森林整備費、木製玩具製作費に係る部分に充当）

【実績】木育ひろば利用人数 年間 14,732人

## □ 取組の背景

- ・ 間伐等を行い森林整備を行うことで、園路の安全性や雑木林の更新、既存植生の光環境の改善により草本類の多様性の維持を進める。
- ・ 市内にある牛久自然観察の森で、赤ちゃんから大人までを対象に開催している木育体験を通じ、木の温もりを感じ、香りに包まれる体験により、森林に興味を持ってもらうきっかけづくりや森林資源の普及啓発活動を行う。



（親子ひろばで遊ぶ様子）



（大型木製ジオラマ「くまのお城」）（森林整備）



## □ 工夫・留意した点

- ・ 令和4年度は新型コロナウイルスによる休園等がなかったため利用者が増加した。安心して利用できるように、木のおもちゃ、机、椅子等のアルコール消毒と紫外線殺菌を日々行い、参加者が安心して利用できるよう対応した。

## □ 取組の効果

- ・ 森林整備に関してはカシノナガキクイムシの食害を防止した。
- ・ 出張木育ひろばを利用した親子、近隣住民が木の積み木など、子育て支援施設での木とふれあう機会を創出すると共に、観察の森での環境学習や木育の取り組み・来園を促す普及啓発につながった。
- ・ 新たに木育ひろばに製作・設置した大型木製ジオラマ等を使用し現在利用している3世代（祖父母・両親・子ども）へ森林資源について啓発を実施できた。

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：10,964千円	②私有林人工林面積（※1）：489ha	
③林野率（※1）：20.1%	④人口（※2）：84,651人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より